

水系1液架橋型アクリル樹脂塗料
水系 **ポウジンテックス**
アルファ



- 簡単塗装
- 耐候性
- 水系で低臭気
- 速乾性

優れた乾燥性・耐汚染性、幅広い用途

厚生労働省指定 室内空気汚染13物質無配合

従来型ハードタイプの水系アクリル樹脂床塗料は、汚染性では改善されているものの旧塗膜の種類や施工条件(冬場の低温時など)により乾燥過程で塗膜が割れることがありました。水系ボウジンテックスアルファは乾燥初期から優れた耐汚染性を発揮し、冬季でも高光沢の塗膜を形成します。



特長・用途

特長

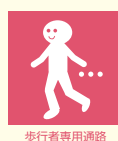


ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 環境にやさしい水系システム
- 2 水系でありながら優れた乾燥性
- 3 1液架橋型で優れた耐汚染性
- 4 アクリル樹脂では最強の塗膜を形成
- 5 外部に使用できる優れた耐候性

用途

- 1 溶剤を使用できない一般工場や倉庫
- 2 軽歩行用としてのアスファルト、モルタルの床
- 3 美装性、耐候性の必要な遊歩道や広場
※常時水および熱水がかかる床面には不適です。



塗膜乾燥初期の汚染性

水系ボウジンテックス
アルファ



若干の摩耗は見られるが汚染はない

従来型ハードタイプ
水系アクリル樹脂塗料



若干の摩耗は見られるが汚染はない

一般
水系アクリル樹脂塗料



かなり汚染が見られる

試験方法 塗装後2日間常温で自然乾燥させた後、タイヤ片(硬質ゴム)で塗膜をこすり、塗膜の摩耗状況、汚染状況を観察した。

低温塗装時の塗膜の状態

水系ボウジンテックス
アルファ



異常なし

従来型ハードタイプ
水系アクリル樹脂塗料



乾燥過程でクラック発生

一般
水系アクリル樹脂塗料



異常なし

試験方法 気温10℃、湿度60%の恒温室で旧塗膜(一般水系アクリル樹脂)の上に塗装し、塗膜の状態を観察した。

性能・荷姿

性能			
試験項目	試験方法	結果	
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200μm,60度	エナメル	70以上
		クリヤー	80以上
		艶消しクリヤー※	40±5
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	HB	
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2,1000回転	80±5	
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし	
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48h浸せき	異常なし	
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48h浸せき	若干白化	
耐温水性	50℃温水に48h浸せき、乾燥後	異常なし	
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケーター法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆	

※艶消しはクリヤーのみとなります。

荷姿

■上塗り材

水系ボウジンテックス アルファ 15kg・4kg

■下塗り材

水系ボウジンテックス シーラー 15kg・4kg

水系ボウジンテックス
エポキシシーラーII
14kgセット
(主剤7kg/硬化剤7kg)
4kgセット
(主剤2kg/硬化剤2kg)

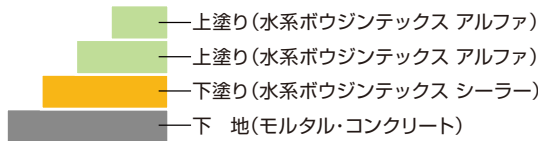
■副資材

歩行用防滑骨材 300g

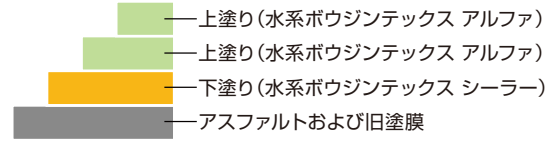
MIZUKEI BOUJINTEX ALPHA

塗装工程

モルタル・コンクリート面



アスファルト面、旧塗膜面



塗装仕様

■モルタル・コンクリート面

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面にレイトンスや脆弱層がある場合、付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナックス等で完全に除去し次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し充分乾燥させる。また、クランク・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。(ただし、補修跡は目立ちます。)								
下塗り	水系ボウジンテックス シーラー 15kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.10~0.13	115~150	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジンテックス アルファ 15kg	5~10% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.15~0.2	38~50	2h以上	—	6h以上 完全硬化 2日以上

◇クリヤー(艶有り)の場合

上塗り	水系ボウジンテックス アルファ クリヤー 15kg	20~30% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.10~0.13	58~75	2h以上	—	6h以上 完全硬化 2日以上
-----	------------------------------	-----------------	------------	---	-----------	-------	------	---	----------------------

◇艶消しクリヤーの場合

上塗り	水系ボウジンテックス アルファ 艶消しクリヤー 15kg	15~20% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.10~0.13	58~75	2h以上	—	6h以上 完全硬化 2日以上
-----	---------------------------------	-----------------	------------	---	-----------	-------	------	---	----------------------

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※上塗り1回目に歩行用防滑骨材を混合することにより、軽歩行用防滑仕上がりが可能です。(添加量:300g/1缶)

※シーラーの吸い込みが激しい場合は、シーラーを2回塗装してください。

※水系ボウジンテックス シーラーは水系1液型アクリル樹脂のため、剥離に繋がるおそれがありますのでレイトンスを完全に除去してください。

また、水を垂らして濡れ色にならないような緻密面には不適です。

※水系2液型エポキシ樹脂の「水系ボウジンテックス エポキシシーラーII」を下塗りに使用するとより付着性が向上します。

ただし、クリヤー仕様の場合エポキシシーラーIIは屋内用途のみとなります。また窓際や水銀灯下でも経時により黄変する場合がありますのでご注意ください。

※クリヤー仕様の場合、コンクリート色ではなくコンクリートの質感を生かした濡れ色になります。

※クリヤー仕様の場合、コンクリート・モルタル面の状態により吸い込みむらが目立ちますのでご注意ください。

※クリヤー仕様の場合、下地を研磨すると研磨跡が目立ちますのでご注意ください。

※艶消しクリヤーは十分に攪拌してから塗装してください。(光沢むらの原因となります。)

◇その他の下塗り材(より付着性を必要とする場合)

下塗り	水系ボウジンテックス エポキシシーラーII 主剤7kg 硬化剤7kg	既調合 (無希釈)	ハケ ローラー	1 (~2)	0.12~0.16	88~116 (44~58)	—	4h以上 48h以内	—
-----	---------------------------------------	--------------	------------	-----------	-----------	-------------------	---	---------------	---

※水系ボウジンテックス シーラーのかわりに「水系ボウジンテックス エポキシシーラーII」を下塗りに使用するとより付着性が向上します。

ただし、クリヤー使用の場合エポキシシーラーIIは屋内用のみとなります。

※シーラーの吸い込みが激しい場合は、シーラーを2回塗装してください。

■アスファルトの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新設の場合は2週間以上期間を取り、表層の油分をなくす。転圧が充分行われていることを確認する。(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がるので塗装を避ける)アスファルトのくぼみに溜まった土砂を取り除くため、デッキブラシ等を併用して水洗する。(油分がある場合は洗剤を使用する)水洗後、自然乾燥する。									
下塗り	水系ボウジンテックス シーラー 15kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.2~0.3	50~75	—	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジンテックス アルファ 15kg	5~10% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.18~0.24	31~42	—	3h以上	—	8h以上 完全硬化 2日以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量はアスファルトの状態により大きく増減します。

■塗り替えの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	旧塗膜上の、ゴミ、ホコリ、油脂類等は除去し、清浄な素地面とする。									
下塗り	水系ボウジンテックス シーラー 15kg	無希釈	ハケ ローラー	1	0.10~0.13	115~150	—	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジンテックス アルファ 15kg	5~10% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.15~0.2	38~50	—	2h以上	—	6h以上 完全硬化 2日以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※旧塗膜がアクリルエマルションの場合は、下塗り工程は省略することができます。

注意事項

仕様全般

1. 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想される場合は、乾燥不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
2. 塗装中に塗料缶を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
3. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
4. 下塗りの塗付量が下限値以下の場合には剥離の可能性があります。
5. 排水溝には捨てないでください。
6. 静電気をきらう床には塗装しないでください。
7. 施工時および施工終了後において、十分な換気を行ってください。
8. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
9. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
10. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 水系ボウジンテックス シーラーのアスファルト面への塗面積・塗付量はアスファルト細面を基準としています。(粗面の場合は、約2倍の塗付量が必要です)
2. 水系ボウジンテックス シーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します)
3. 水系ボウジンテックス エポキシシーラーIIは、可使用時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下するので、可使用時間内に手際よく塗装してください。
4. 使用前には充分攪拌してください。
5. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
6. 2液型塗料は、塗料ごとの可使用時間内に塗装してください。
7. 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
8. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
9. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
10. 主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
11. 保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
12. 材料の保管、取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

カラーサンプル



注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。
発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。



水谷ペイント株式会社

LINE公式
アカウント開設!
ID: @521kgmun



水谷HPは
こちら↓



本社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-2-2-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 007-0850	札幌市東区北50条東2丁目3-12	☎ (011) 702-5556 FAX (011) 702-5557
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2412050155451